

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきるちから1		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 13日		～ 令和 7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 15日		～ 令和 7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	総合的な支援を行っている。	作業療法士や保育士を中心に専門的な角度から子どもたちへのアプローチの仕方や支援方法を検討していき、スタッフに共有をしている。	外部研修に積極的に参加。 内部研修の内容を充実。 いろいろな視点からのアプローチをしていき、支援方法の深掘りを行っていく。
2	支援環境を整えている。	静や動の動きができるようにフロア内の環境を整えたり、利用者が自分の好きな遊びを自分で選択し取り組んでいけるように配置を考えている。	利用者さんの成長に合わせた適切な玩具や支援用具をスタッフ間で話し合い、用意する。
3	同じ地域の中で、事業所が複数ある。	事業所同士の関係を密にし、支援内容や活動内容の情報交換を行い活動の幅が広がっている。	さらに、いろいろ視点からの支援法等の情報交換、外出支援場所や活動内容等の情報交換を行い、質の高い支援が出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングの取り組みが少ない。	ペアレントトレーニングに対する知識が少ない。 家族支援のプログラムの取り組み体制が整っていなかった。	保護者様参加型のイベントを企画し、保護者様や保護者様同士直接お話をする場を増やしていく。 外部のペアレントトレーニング研修を受講し、知識をつけていく。
2	地域との交流の場が少ない。	地域行事の把握が出来ていない。	地域のイベントに参加し、地域との関わりを増やしていく。 また、子ども部会内で情報を収集し、就労支援事業所や他事業所でのイベントや夏祭り等の地域活動に積極的に参加していく。
3			